

◆お詫びと訂正◆

34 巻増刊号「胃疾患アトラス 改訂版」につきまして、下記の誤りがございました。
深くお詫びしてここに訂正いたします。

記

1) 173 頁の図 1c, d

【誤】

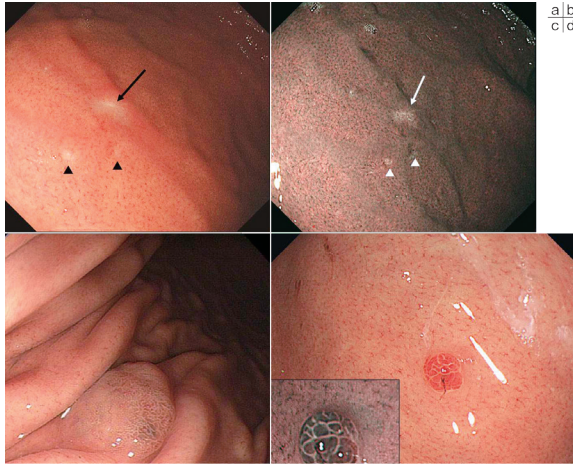


図1 小さな褪色病変として発見された胃 MALT リンパ腫：症例 1

a. 胃体下部前壁にほぼ平坦な褪色病変を認める(矢印)。その周辺に微小な褪色病変を2つ認める(矢頭)。
b. NBI像(非拡大)：白色光に比べて褪色病変が明瞭に認められる。矢印はaの矢印、矢頭はaの矢頭の病変に一致する。

c. bのNBI併用拡大像：表面に樹枝状血管網を認めるが、血管の広狭不整はない(矢印)。矢頭は前医で施行された生検瘢痕を示す。
d. 生検組織像：小型異型リンパ球の著明な浸潤を認める。挿入図は強拡大像。矢印は上皮腺管に浸潤した小型異型リンパ球を示す(Lymphoepithelial lesion : LELの初期像)。
a, c. 文献3より転載



【正】

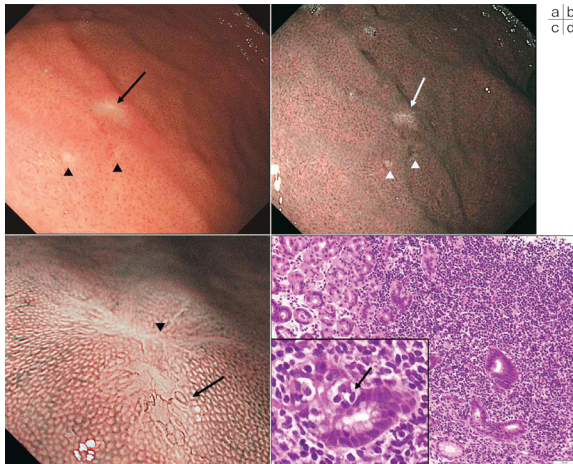


図1 小さな褪色病変として発見された胃 MALT リンパ腫：症例 1

a. 胃体下部前壁にほぼ平坦な褪色病変を認める(矢印)。その周辺に微小な褪色病変を2つ認める(矢頭)。
b. NBI像(非拡大)：白色光に比べて褪色病変が明瞭に認められる。矢印はaの矢印、矢頭はaの矢頭の病変に一致する。

c. bのNBI併用拡大像：表面に樹枝状血管網を認めるが、血管の広狭不整はない(矢印)。矢頭は前医で施行された生検瘢痕を示す。
d. 生検組織像：小型異型リンパ球の著明な浸潤を認める。挿入図は強拡大像。矢印は上皮腺管に浸潤した小型異型リンパ球を示す(Lymphoepithelial lesion : LELの初期像)。
a, c. 文献3より転載

2) 3 頁, 230 頁の論文タイトル

【誤】 早期胃癌 (2 型, 3 型) ⇒ 【正】 進行胃癌 (2 型, 3 型)